令和７年度

決算報告書

第７期

自　令和７年４月　１日

至　令和８年３月３１日

公立大学法人大阪

令和7年度決算報告書

（単位:百万円）

区分	予算	決算	差額 (決算−予算)	備考
収入				
運営費交付金	33,771	34,423	652	(注1)
施設整備費補助金	11,277	10,106	△ 1,171	(注2)
自己収入	49,592	49,586	△ 6	
授業料及び入学金検定料収入	6,000	6,820	820	(注3)
附属病院収入	42,323	41,347	△ 976	(注4)
雑収入	1,269	1,419	150	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	6,912	7,847	935	(注5)
補助金等収入	4,551	4,870	319	(注6)
長期借入金収入	1,000	1,000	0	
目的積立金取崩	2,617	885	△ 1,732	(注7)
計	109,719	108,717	△ 1,003	
支出				
業務費	86,878	84,416	△ 2,462	
教育研究経費	39,685	38,985	△ 700	(注8)
診療経費	47,193	45,430	△ 1,763	(注4)
施設・設備整備費	13,353	11,410	△ 1,943	(注2)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	6,912	7,080	168	(注5)
補助金等	1,466	3,519	2,053	(注6)
長期借入金償還金	1,109	1,096	△ 13	
計	109,719	107,521	△ 2,198	

※ 本表の数値は単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

○予算と決算との差異について

（注1） 人件費の増加により交付額が増加したため、予算額に比して決算額が増加しております。
（注2） 入札結果や学舎整備スケジュールの変更により、予算額に比して決算額が減少しております。
（注3） 大阪府の高等教育の修学支援制度の実績減により、予算額に比して決算額が増加しております。
（注4） 入院・外来ともに患者数及び病床稼働率が想定より下回ったことにより、予算額に比して決算額が減少しております。
（注5） 受託研究等の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が増加しております。
（注6） 補助金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が増加しております。
（注7） 入札結果や必要項目の見直しにより、目的積立金対象経費の予算額に比して決算額が減少しております。
（注8） 受託研究等の間接経費の獲得及び執行の実績増により、予算額に比して決算額が減少しております。